

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 10 日 (2016.3.10)

【公表番号】特表 2015-536074 (P2015-536074A)

【公表日】平成 27 年 12 月 17 日 (2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2015-079

【出願番号】特願 2015-533161 (P2015-533161)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

H 0 4 W 56/00 (2009.01)

【F I】

H 0 4 B 1/16 R

H 0 4 W 56/00 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 21 日 (2016.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループを維持することと、前記チャネルは、ユーザ装置 (UE) 専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループを維持すること、ここで前記少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している

を具備する周波数オフセットを低減するための無線通信方法。

【請求項 2】

信号対雑音比 (SNR) に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び / 又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタすること、を更に具備する請求項 1 の方法。

【請求項 3】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ (TS0) 以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット (TS) のミッドアンプフィールドを使用する、請求項 1 の方法。

【請求項 4】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ (TS0) のミッドアンプフィールドを使用する、請求項 1 の方法。

【請求項 5】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、先立ってデータフィールド上のポストイコライゼーション信号を、及び / 又は続いてタイムスロットゼロ (TS0) 以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット (TS) のうちのミッドアンプフィールドを、使用する、請求項 1 の方法。

【請求項 6】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロット (TS0) の後に送信されたダ

ウンリンクパイロットタイムスロット (D W P T S) を使用する、請求項 1 の方法。

【請求項 7】

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する、少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループを維持するための手段と、前記チャネルは、ユーザ装置 (U E) に専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する、少なくとも 1 つの第 2 の共有チャネル周波数追跡ループを維持するための手段と、ここで前記少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している、

を具備する、周波数オフセットを低減させる無線通信に関する装置。

【請求項 8】

信号対雑音比 (S N R) に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び / 又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタする手段、を更に具備する請求項 7 の装置。

【請求項 9】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ (T S 0) 以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット (T S) のミッドアンプルフィールドを使用する、請求項 7 の装置。

【請求項 10】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ (T S 0) のミッドアンプルフィールドを使用する、請求項 7 の装置。

【請求項 11】

無線ネットワークにおける無線通信に関するコンピュータプログラム製品あって、

非一時的なプログラムコードをその上に記録した非一時的なコンピュータ読取可能な媒体を備え、前記プログラムコードは、

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループを維持するためのプログラムコードと、前記チャネルは、ユーザ装置 (U E) 専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する少なくとも 1 つの第 2 の共有チャネル周波数追跡ループを維持するためのプログラムコードと、ここで前記少なくとも 1 つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも 1 つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している、

を具備するコンピュータプログラム製品。

【請求項 12】

前記プログラムコードは、信号対雑音比 (S N R) に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び / 又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタするためのプログラムコードを、を更に具備する請求項 11 のコンピュータプログラム製品。

【請求項 13】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ (T S 0) 以外の少なくとも 1 つのダウンリンクタイムスロット (T S) のミッドアンプルフィールドを使用する、請求項 11 のコンピュータプログラム製品。

【請求項 14】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ (T S 0) のミッドアンプルフィールドを使用する、請求項 11 のコンピュータプログラム製品。

【請求項 15】

メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも 1 つのプロセッサと、を具備し、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

無線通信システムのうちの少なくとも 1 つの専用チャネルを復調することに関する少な

くとも1つの専用チャネル周波数追跡ループを維持し、前記チャネルは、ユーザ装置（UE）専用である、

前記無線通信システムの共有チャネルを復調することに関する少なくとも1つの第2の共有チャネル周波数追跡ループを維持する、ここで前記少なくとも1つの共有チャネル周波数追跡ループは、前記少なくとも1つの専用チャネル周波数追跡ループから分離している、

ように構成される無線通信に関する装置。

【請求項16】

前記少なくとも1つのプロセッサは、

信号対雑音比（SNR）に依存するループ帯域幅を用いて前記共有チャネル周波数追跡ループ及び／又は前記専用チャネル周波数追跡ループをフィルタするように更に構成される、請求項15の装置。

【請求項17】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ（TS0）以外の少なくとも1つのダウンリンクタイムスロット（TS）のミッドアンプフィールドを使用する、請求項15の装置。

【請求項18】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロットゼロ（TS0）のミッドアンプフィールドを使用する、請求項15の装置。

【請求項19】

前記専用チャネル周波数追跡ループは、先立ってデータフィールド上のポストイコライゼーション信号を、及び／又は、続いてタイムスロットゼロ（TS0）以外の少なくとも1つのダウンリンクタイムスロット（TS）のうちのミッドアンプフィールドを、使用する請求項15の装置。

【請求項20】

前記共有チャネル周波数追跡ループは、タイムスロット（TS0）の後に送信されたダウンリンクパイロットタイムスロット（DWP TS）を使用する、請求項15の装置。